

【参考】災害に強いネットワークの構築

- 南海トラフ地震の発生を想定して、主に九州の高規格道路を利用した広域移動ルートが設定され、迅速な救援活動実施を計画している。
- しかし、宮崎市～志布志市エリアにおいては、東九州道が未開通であることや、並行する国道220号の約3割が津波浸水エリアとなるため迅速な支援に支障をきたす可能性が残存。
- ミッシングリンクが解消されることで、災害に強いネットワークが構築され、迅速な救援活動を支援。

■南海トラフ地震発生時の広域移動ルート

